

## 「ふくおとめ」(モモ)のプロフィール

＝福島県農業総合センター果樹研究所＝

昭和59年に「倉方早生」を母、「ちよひめ」を父として交配し、胚培養により再生した個体の実生から選抜されました。「はつおとめ」とは兄弟にあたります。

成熟期は「はつおとめ」より5日程度遅く、福島市での成熟期は6月下旬頃になります。

着色が良く、果肉も滑らかで、食味は甘味と酸味が適度にあり良好です。

「はつおとめ」に引き続き、オウトウとセット販売が可能なモモとして有望視されています。



ふくおとめ